

# 第162回「防災まちづくり談義の会」レポート

(防災塾・だるま・ホームページ: <http://darumajin.sakura.ne.jp/>)

平成30年12月

◆日時: 2018年12月21日(金)16:00~17:30

◆会場: 神奈川大学 24号館310室

◆主催: 防災塾・だるま

司会: 田中喜世美

記録: 中島光明

◆談義の会参加者: 会員 36名(含む講師)、一般2名、計 38名 (敬称略)



釜石 徹氏

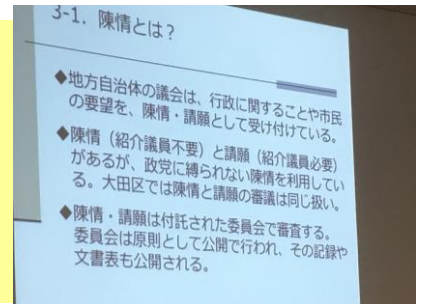
話題: **意見交換会 『防災の課題と対策を考える・・・』**

総合司会: **釜石 徹氏** (災害対策研究会 主任研究員)

地域防災に関する課題と対策については、概念的に理解しているが、具体的なテーマについて意見交換をすることにより「地域の防災対策を見直すキッカケ」を学ぶことができた。そして、参加者による幾多の意見に触れることにより、課題と対策について具体的な整理の必要性を知る貴重な機会となった。

## 地域防災に関する課題など:

- ・首都直下地震 (M7.3) で自宅付近の停電は何日ぐらいになるか?
- ・住む家を失った人が避難所を確実に利用できるようにするためには?
- ・避難所になった学校の授業再開の目標はどのぐらいと考えるか?
- ・自治体に対して個人でも**陳情**ができるので活用するのが良い。
- ・災害時自宅におけるトイレ (大) 処理は?



## テーマに関する対策は・・・:

- ◇停電: 1週間以上の停電を想定した対策が望ましい
- ◇避難所収容予定人数: 当該地区の住民の約20%  
避難所へ行かざるを得ない人のみ避難する  
(旧耐震家屋の人数に相当・・・住宅土地統計調査が参考)
- ◇学校の授業をより早く再開するために、住民が事前にしておくことはないか?
- ◇災害時の自宅避難生活では**トイレゴミ減量対策と臭い対策**  
生ごみとして処理する場合の臭い対策 (BOS+ゴミ袋)

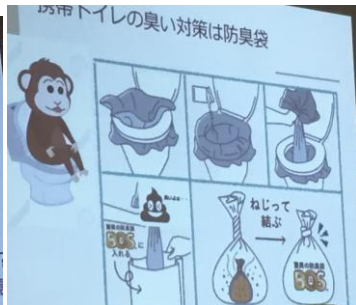
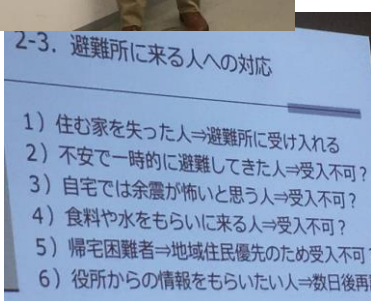


写真 (左上から): 釜石氏、避難所対応策の検討事例、トイレゴミ対策、当日の会議風景

メモ: 意見交換会の解説資料は、釜石氏から提供いただきましたので、だるまHPに掲載します。

## ●次回 (第164回) 案内

- ・日時: 2019年1月25日(金) 18時~19時30分
- ・会場: 神奈川大学 24号館 310号室
- ・テーマ: 「**北海道胆振東部地震を体験して**」 相原延光氏 (関東学院中学校・高等学校講師)